

【令和7年度 最後の集会 式辞】

みなさん、おはようございます。校長の川端裕子です。

まずは、この一年の学習を終えて、次の学年に進めること良かったですね。おめでとう。そして、みなさん、自分の命を大切にしてくれてありがとう。1年の締めくくりにみなさんとここで時間を共有できること、本当にうれしく思います。

この一年、いろんな経験を積みましたね。

本当によく頑張った人がいることを、私は知っています。

努力しても思うように結果が出なかった人がいたことも知っています。

多くの方は、「頑張った自分とそうでなかった自分、両方いるよ」って思っているのではないのでしょうか。

私もその一人です。失敗したこと、うまくいかなかったことの方が多いかもしれません。

大切なのは結果だけでなく、どれだけ逃げずに向き合い、積み重ねてきたかだと思います。

うまくいった経験はもちろん価値がありますが、うまくいかなかった経験はもっと大きな価値を持たせることができます。そのためには、振り返ることが大切です。そうすれば、うまくいったことは自信に、そうでなかったことは、必ず次の力になります。みなさんなら振り返って次に進めるはずです。

一方で、気になることもありました。

皆さんの前でお話する時に必ず伝えている「大切にしてほしい3つのこと」、「自分を大切に」「他人を大切に」「学校というパブリックなスペースを大切に」これらが無いがしろになっていて、自分の感情をそのまま言葉や行動にしてしまう場面が見られたことです。

また、自分を律し、マナーを意識できていない場面も見られました。ルールを無視している人も少なくありませんでした。そのたびに、もっとルールを引かなければならないのかと残念に思いました。

さらに、言葉は人と人をつなぐためにあるのに、強い言い方や態度が、人と人を切り離してしまうと感じたこともありました。そういう私も常に、「こう言った方がよかったな」「相手の気持ちをもっと受け止めたらよかったな」と後悔しては、そのことでつらい気持ちが何日もぐるぐるすることも正直よくあります。

SNS 等の短い言葉や動画に慣れてきた私たちだからこそ、どの言葉を選ぶか、どう言うか、あるいは言わない方が人を救うのか、難しいけれど貝高生には選ぶ力を持ってほしいと思います。

世界では争いが続いています。たくさんの命が簡単に奪われ続けていることに心が痛みます。

同じ人間でも、何を正しいと思い、どの行動を選ぶのかで、社会は大きく変わります。

学校も同じです。一人ひとりの言葉と行動が貝高をつくっています。「自分も他人も大切に」、そして「ともに学びともに育つ」ことを知っている貝高生なら、自分のことに置き換えられるはずです。

みなさんには、その力があると、私は信じています。

さあ春休みです。しっかり充電し、4月8日、新しい学年になった笑顔のみなさんと、この場所で会えることを楽しみにしています。

令和8年3月24日
校長 川端裕子